

6月4日～ 歯と口の健康週間！

ものを食べるのに欠かせない「歯」。乳歯が虫歯で抜けてしまうと、食べることに支障が出るため、体の成長にも影響します。小さいころから歯みがきの習慣をつけて、歯を守りましょう。

歯医者さんは歯を守る強い味方です。歯がきちんとみがけているか、虫歯はないかなど、歯のトラブルを予防するために、お子さんと一緒に家族で定期的に歯科検診を受けるのもおすすめです。

虫歯はこうしてできる！

① 糖分をもとに プラークができる

口の中の糖分をエサに、虫歯菌が繁殖し、ネバネバとしたプラーク（歯垢）をつくります。プラーク1mgには、なんと虫歯菌が10億個以上も！

② 虫歯菌が酸を出す

プラークの中で虫歯菌が糖分を取り込み、酸性の物質を出します。



③ 酸が歯を溶かす

虫歯菌の出す酸が、歯の表面を溶かし、やがて歯に穴が開いて虫歯になります。表面だけが溶けた「初期虫歯」なら、歯みがきをしっかりとすることで、本格的な虫歯に進むのを防げます。

保健行事のお知らせ

- 6月17日 13時～ 内科健診 中井医師
- 6月18日 9時30分～ 歯科検診 石原医師
- 6月19日 検尿



内科健診を欠席された場合は申し訳ありませんが、いしうらクリニックで健診を受けていただきます。ご了承ください。

～虫よけグッズについて～

安全面を考慮して、虫よけシール・リング携帯用のグッズ等は、取れたり、落としたりした場合に、小さい子が口にしてしまう危険性を考慮し、保育園では使用できません。

必要な場合は保護者の管理で、登園前にスプレー等を使用してください。

夏の間はプール・水遊びを行います。その際に絆創膏、虫さされ後に貼る虫パッチも貼ってはプール・水遊びはできませんので、ご了承ください。（防水用のものが貼ってあるときは職員にお伝えください）